

平成29年度事務事業評価シート

No.233

平成29年6月30日作成

事業番号		担当課等	温泉課							
事務事業名	温泉資源保護安定供給装置監視システム購入事業									
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営
関連する個別計画					
目的	温泉資源の保護、有効利用に取り組み、経営の合理化を図るため、温泉課職員に限り自動遠方監視装置情報を閲覧可能な端末機器(タブレット)を配布し、異常を早期に発見し対応できるようにするもの。				
対象	温泉課職員				
内容	自動遠方監視装置システムの情報を閲覧が可能な端末機器(タブレット)を購入し温泉課職員に配布し、各自データとして閲覧することで、異常を早期に発見し対応できるようにするもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		0	0	3,500,000		
	人件費	常勤職員	0	0	228,083		
		非常勤職員等					
		人件費合計	0	0	228,083		
	総事業費		0	0	3,728,083		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	0	3,728,083		
	財源合計		0	0	3,728,083		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成28年度までの自己評価または改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 「温泉資源保護安定供給装置」は財団法人中央温泉研究所の特許であり、同装置を使用可能な業者から本町システムを導入し、同業者とは、「災害時における温泉資源保護安定供給システムの復旧の協力に関する協定」を締結しているため、不可能。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成29年10月31日(予定)
------	----	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--